

六ツ門図書館展示コーナー

〒830・0031 久留米市六ツ門町3-11
 くるめりあ六ツ門5階
 TEL.. 0942・277・9288
 FAX.. 0942・277・7288

時代も内容もさまざま 新たな資料を毎月初公開

久留米市が新たに収蔵した資料をいち早く公開するため、令和4年度に開始した「新収蔵資料紹介コーナー」。令和5年度もできるだけ多くの資料をご覧いただけるよう、月替わりで展示を行いました。公開の際は、その資料群の来歴や

特徴をよく示すものを選んでいきます。また、つづじが見頃を迎える4月は久留米つづじ、終戦記念日にあわせて8月は戦争関係資料というように、時節に合わせてテーマを設定することもあります。

各月のテーマは左の表のとおりです。近代の美術工芸品や書籍、昭和の道具など、多様な資料を紹介しました。

月	テーマ
4月	久留米つづじ、世界へ ～近代の品種改良と販路拡大～
5月	西原柳雨関連資料 ～原稿や校正からたどる古川柳研究家の歩み～
6月	水魔・各地で猛り狂う ～昭和28年水害新聞記事スクラップ～
7月	描き、創り、奏でる ～マルチアーティスト・古川潤二～
8月	戦地へ ～少年飛行兵の出征旗～
9月	絵葉書にみる近代久留米 ～観光名所・陸軍特別大演習～
10月	実践 躬行（自ら行動せよ） ～政治家・有馬頼寧の書～
11月	自由への眺望 ～ドイツ兵捕虜が描いた風景画～
12月	戦後日本の学校と組合 ～高校教員の蔵書から～
1月	昭和戦後のボードゲーム ～新行軍将棋～
2月	問題用紙も文集も、手書き印刷 ～謄写版（ガリ版）～
3月	歴史資料の来歴を探る ～内野家旧蔵資料～

展示替えの予定については、随時、市ホームページでお知らせしています。

むかしのくらし展 暮らしを変えた電化製品

会期：令和5年12月23日（土）
 ～令和6年3月24日（日）

「むかしのくらし展」では、市が収蔵するさまざまな昔の道具を中心に展示し、市民の方に紹介しています。令和5年度は、「暮らしを変えた電化製品」と題して行いました。昭和30年代、高度経済成長期と呼ばれた時期に「三種の神器」と呼ばれ一気に普及したテレビ・冷蔵庫・洗濯機を中心に、さまざまな電化製品を展示しました。

また、思い出深い道具を眺めながら、昔のことを語り合うことは、「回想法」という心理療法のひとつとして知られています。若かりし頃や、子どもの頃、また、今は亡き忘れられない人の思い出に浸ることは、疲れた脳に安らぎを与える効果があると言われています。



令和5年度むかしのくらし展 三種の神器（テレビ・冷蔵庫・洗濯機）が人々の生活を変えた

来場者からは、「家に電気洗濯機がやって来た日に、母がとても喜んでいた」「深夜まで受験勉強をしながらラジオでオールナイトニッポンの糸井五郎を聴いていた」などの話が聞かれました。